

(別添7)

事業所名 グループホームおおつるの家

2 目標達成計画

作成日: 平成27年6月9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	介護度や、障害の違いにより日常生活での行動や思いがかなり違っている。ご利用者の思いは、把握し支援しているが、障害の種類により他のご利用者や職員との意思疎通が難しい事が有る。	ご利用者が暮らせる環境を整え、色々な要望があっても、理解し対応出来る体制を整える。	ご利用者の思いや要望、体調の変化を把握し、個人記録の記帳を行い、職員全員で共有し、職員会議で話し合う。	3ヶ月
2	48	一人ひとりの出来る事を、気分転換としてお願いするが、他の方以上にしなければ、ストレスになる方がおられ支援の方法に四苦八苦している。	ご利用者一人ひとりに合った役割や楽しみ、今やりたいことを理解しながら支援する。	入浴後の洗濯物干し、洗濯物たたみ食事の用意の下準備、片付け等、毎日出来る事は、必ず声掛けしお願いする。楽しみに関しては、ご利用者へ、その都度声掛けし、したい事をしていただく。ご利用者が何をしたいか、何が好みなのかを把握する。	3ヶ月
3	55	居室の使い方に関して、最近ではタンス等の配置に関して、移動の希望が有る。動線を考え配置しているが、ご利用者の自立を考え環境を整える事の工夫をしなければならない。	安全で困らない、分かりやすい、自立した生活が出来工夫をする。	一人ひとりの動きを把握し、利用しやすい様に家具や物の配置を行い、使い易くする事で、自立し易い環境を作る。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。